

令和 8 年

第 5 回 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令和 8 年 4 月 23 日

水 戸 市 教 育 委 員 会

令和8年第5回教育委員会定例会

1 開催日時 令和8年4月23日(木) 午後5時00分 開会  
午後5時52分 閉会

2 開催場所 水戸市役所 3階 教育委員会室

3 出席者 教育長 志 田 晴 美  
委員 内 田 和 子 (教育長職務代理者)  
委員 丸 山 陽 子  
委員 三 浦 綾 佳  
委員 上 畠 佳 子

4 欠席者 なし

5 説明のため出席した職員の職、氏名

教育部長	三 宅 修
総合教育研究所長	田 村 悟
参事(県費負担教職員担当)	岡 村 直 之
参事(教育研究課題担当)	熊 田 泰 瑞
技監兼学校施設課長	和 田 英 嗣
参事兼生涯学習課長	林 栄 一
参事兼歴史文化財課長	小 川 邦 明
教育企画課長	湯 澤 康 一
学校管理課長	住 谷 剛
学校保健給食課長	堀野辺 直
中央図書館長	相 沢 秀 幸
教育研究課長	安 田 理 恵
教育研究課いじめ・不登校支援室長	大 須 泰 行

6 傍聴人 1名

7 本日の日程

(1) 報 告

① 実態に応じたチーム担任制(チーム体制づくり)の導入について【公開】

(2) 議 案

議案第19号 水戸市教育支援委員会の委員の補充委嘱又は補充任命について【非公開】

議案第20号 水戸市いじめ問題調査委員会の委員の委嘱について【非公開】

議案第21号 水戸市いじめ問題調査委員会への諮問について【非公開】

## 8 会議の概要

午後5時00分 開会

○志田教育長 ただいまから、令和8年第5回教育委員会定例会を開会いたします。

なお、本日は、1名の方からの傍聴の申し出がございますので、御報告をいたします。

それでは、入室していただきますようお願いいたします。

〔傍聴人入室〕

○志田教育長 初めに、非公開とする案件についてお諮りをいたします。

本日の案件のうち、議案第19号、議案第20号及び議案第21号につきましては、非公開の取扱いといたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

なお、議案第21号につきましては、関係職員のみのお出席となりますので、御了承願います。

初めに、報告を行います。

報告(1) 実態に応じたチーム担任制(チーム体制づくり)の導入について、説明願います。

田村総合教育研究所長。

○田村総合教育研究所長 それでは、資料の1ページをお開き願います。

本市における実態に応じたチーム担任制(チーム体制づくり)の導入について、御報告いたします。

本市では、児童生徒との信頼関係の構築や、きめ細やかな指導の充実を図るため、固定担任制を基本とした指導を行っております。

しかしながら、昨年度、特に小学校におきまして、担任を務めている新規採用教員の休職や欠勤日数の増加が見られました。また、新規採用教員に限らず、学級経営が円滑に機能しない事例も複数の学校で確認されております。

これらの背景には、初期対応の遅れや、規律形成に関する指導の不十分さ、その一方で、過度に強い指導による児童生徒の反発などがあり、学級の閉鎖性が組織的な対応等を遅くさせる原因になっていると考えております。

このような課題を踏まえ、1人の担任が固定担任制として課題を抱え込む構造を改善するとともに、若手教員の育成機会の充実や、学級間における指導のばらつきの解消を図るため、教員の孤立及び学級経営のブラックボックス化を防ぐ学校のチーム体制の構築を推進してまいりたいと考えております。

導入の方向性として、本市の小中学校48校につきましては、学校規模及び教員の年齢構成等が学校毎に大きく異なることから、一律にチーム担任制を導入するのではなく、教科担任制の活用や、朝の会、帰りの会といった短学活、給食指導等の担任の入替え等を行いながら、各校の実態に応じた取組を学校長の采配下で進め、本年度の実践を基に、令和9年度以降も持続可能なチーム体制の構築を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

上畠委員。

○上畠委員 本市の取組状況の報告があつたのですが、校長先生の判断でチーム担任制は既に導入されていたのでしょうか。

○志田教育長 田村総合教育研究所長。

○田村総合教育研究所長 令和7年度の年度末に、公立小学校32校にアンケートを取ったところ、チーム担任制を導入している学校もありました。導入方法は様々で、期間を定めた導入や、校長の判断の下での導入、また、学年主任の要望の下でチーム担任制を導入した学校も2校ございました。

その他、一部教科担任制を導入している学校が13校ございました。その他、一番多い事例として、水戸市教育委員会で10年以上前からお願いしておりますローテーション道德を実施している学校が、16校ございました。それにより、1人の担任が全クラスの様子を見ることができます。

○志田教育長 上島委員。

○上島委員 小学校でも中学校でも、導入事例はあるのですか。

また、3クラスからなる学年があり、それぞれ担任がいる場合、その担任の教員3人でチームを組み、3クラスを担当するのでしょうか。

○志田教育長 田村総合教育研究所長。

○田村総合教育研究所長 はい。中学校では教科担任制が土台になっておりますので、基本はその教科担任制を継続するのですが、道德などでは、同じ担任ではなく、様々な教員が関わっている学校もあります。

また、教員は、上島委員の御指摘のとおり、ローテーション形式で担当するクラスを交代します。もしローテーションするクラス数よりも教員を多く配置できれば、担任を持たない教員を空き時間にする等、やり方が様々あるのですが、定数が決まっておりますので、それぞれの担任が各クラスを担当しております。

○志田教育長 上島委員。

○上島委員 教員の人数が多くいけば、担任、副担任のような形式も組めるかもしれないですが、今は人数がないので、チームでローテーションを組むのですね。

○志田教育長 丸山委員。

○丸山委員 先生方の人数不足の側面がある中で、どのようにチーム担任制を構成するのかわかや、先生方のチームの組み方として理想的なモデルがあるのかどうかについて伺いたいです。

○志田教育長 田村総合教育研究所長。

○田村総合教育研究所長 チーム担任制の在り方は、一律に担任を入替えるだけではないと考えております。そのため、チーム担任制と記載しておりますが、チーム体制づくりとして考えていきたいと思っています。

1人の教員が一つの学級を担当する場合、視点が限定的になり、多面的な理解が難しくなる側面があります。複数の教員が関わることで、子どもたちにとっても相談相手の選択肢が増え、教員とより確固たる繋がりを築くことができると考えております。

また、教員が定期的に各クラスの担任を交代していくことが理想ですが、指導力や年齢構成等も関わるため、一律で同じ対応を取ることは難しく、場合によっては一部の教科だけ担当教員を入替える等により、子どもたちを複数の目で見たいと考えております。

○志田教育長 丸山委員。

○丸山委員 チーム担任制には良い側面がある反面、教員の入れ替わり頻度が高くなると、子どもたちの心の拠り所が育成されにくい側面もあり、表裏一体の制度だと思います。学校には年齢や役職、経験の異なる教員が在籍しており、チームとしてお互いを支え合えると思いますが、その一方で、子どもたちにとっての安定した関係の継続とどう折り合いをつけるのか、見通しをお聞かせ

ください。

○志田教育長 田村総合教育研究所長。

○田村総合教育研究所長 特に小学校低学年では、担任が頻繁に変わるよりも、1人の教員が継続して関わるほうが、安心して過ごせる子どもも多いかもしれません。一方で、学級の中には、担任以外の教員と関わりを持ちたいと思う子どももいるかもしれません。

そのため、表裏一体の側面を持つ制度であることや、各学校の実情を踏まえながら、子どもたちにとって最適な体制を、各校長の判断の下で整えていただきたいと考えております。

これまでの固定担任制に見られる閉鎖的な指導については、見直していく必要があると考えております。

○志田教育長 ほかにございますか。

内田委員。

○内田委員 チーム担任制は、メリットもあればデメリットもあります。その部分をしっかりと確認しながら、よりメリットが増えていく方向で進めていくことが大切だと思っております。

その意味で、一律にチーム担任制を導入するのではなく、学校規模や実態に応じた柔軟な運用から開始することは、とても意義があることだと思っております。

一律に導入しようとしても、単学級と複数学級では運営方法は異なりますし、中学校では学級担任とは別に学年主任が置かれているのに対し、小学校では学年主任が学級担任を兼ねているケースも多いため、それぞれの実態に応じたやり方で進めていくことは大事だと思います。特に、小学校では、発達段階を踏まえた導入方法を検討していく必要もあるかと思っております。

したがって、一律の導入ではなく、まずはローテーション道徳から開始し、その後に教科担任制を高学年に取り入れる等、段階的に運用していくことでチーム担任制の良さが見えてくるのではないかと感じています。

聞いた話では、導入によって、多様な支援の充実や児童の安心感の高まり、指導の均等化や授業の質の向上、教員の意欲向上など、様々なメリットが報告されているとのことでした。その中でも特に良いと感じたのは、児童の自立心が高まった点です。

子どもたちの主体性が育まれ、自己有用感の向上にも繋がることは、将来社会に出て自ら考え、判断し、行動していく力の育成という点でも大きな意義があると感じました。こうした観点からも、チーム担任制を段階的に進めていくことは大切ではないかと考えています。

ぜひ各学校の実態をよく鑑みながら、学級数や発達段階を十分に考慮し、進めていただければと思っております。

○志田教育長 ほかにございますか。

上島委員。

○上島委員 チーム担任制の検討に当たって、他県の視察に行かれていたかと思っております。他県や他市の良い点や課題等は、全学校でどの程度共有されていますか。水戸市内の学校内で差が生じないよう、水戸市内での連携もあると良いと思っております。

○志田教育長 田村総合教育研究所長。

○田村総合教育研究所長 富山県の視察のほか、先行導入している自治体も調査し、子ども、保護者、教員それぞれへのメリット、デメリットを各学校長に示しております。その上で、取り入れられる部分について各学校で検討し、令和9年度以降、年度当初から導入を始めて、持続可能な形で進めていけるよう、校長会とも話し合いをしていきたいと思っております。

○志田教育長 内田委員。

○内田委員 私が学校に勤務していた時にも、チーム担任制を取り入れている学校がございました。年度始めと年度末だけ教員を入替え、その間は入替えをせず、最後にまた担任を入替えた事例として聞いております。ほかにもそのような事例はあるのかは分かりませんが、参考までにお伝えします。

○志田教育長 丸山委員。

○丸山委員 チーム担任制として教員間で担任を分担をすると、分担した教員間での情報共有が必要になるかと思われます。その場合、新たに会議や申し送りを実施する等、新たな業務が生じ、勤務時間が伸びてしまう側面も気になりますが、成功しているモデル校では、それらの懸念点は解決しているのでしょうか。

○志田教育長 田村総合教育研究所長。

○田村総合教育研究所長 今、お話があったとおり、情報共有の時間は非常に重要な部分ですが、デメリットとして挙げている方もいます。

しかし、中学校では学年会等を通じて、週1回程度、情報共有をしっかりと行っている学校もあります。一方で小学校においては、空き時間が十分に確保できない場合もありますが、例えばチャットなどのICTツールを活用し、情報を記録・共有し、それぞれが空いた時間に確認できるようにすることで、時間の使い方をより効率化できるのではないかと考えています。その結果として、負担の軽減や時間の削減にも繋がる可能性があるため、こうした工夫についても提案していきたいと考えております。

○志田教育長 丸山委員。

○丸山委員 ブラックボックス化を防ぎ、子どもたちが適切な支援を受けられるように、教員全員でサポートしていくことが重要である一方で、情報伝達がうまく機能しない場合には、かえって必要な情報が共有されず、きめ細かな対応が難しくなる可能性もあるかと思えます。そのため、その点については特に留意すべきポイントではないかと考え、お伺いしました。

○志田教育長 私が考えているチーム担任制は、ただ教員が担任する学級をローテーションして、自分の学級のみ担当範囲とするのではなく、教員全員で、少なくとも学年の子どもたちには目配りできるような、チーム学校といった言葉が当てはまる制度が理想です。

最も懸念しているのは、教員の中には新規採用者や経験の浅い者もあり、その場合に経験不足から対応が遅れてしまう可能性がある点です。例えば、いじめが発生しているにも関わらず、それが適切に把握されず、対応がされないまま学校内で情報共有も十分になされず、結果として教育委員会にも情報が上がってこないケースが考えられます。他県においても、同様の状況から重大な事態に至った事例があると承知しております。

各学校の規模や実情が異なりますし、まだ浸透の浅い制度でもありますので、様々なやり方で、その都度修正しながら取り組むこととなります。子どもたちを担任任せにせず、各教員が意識的に周囲へ目を向け、全体で子どもたちを支える考え方を大切にして、チーム学校といった意識を持ちながら、様々な御意見を聞いて取り組みたいと思いますので、御支援のほどよろしく申し上げます。ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、この件について終わります。

これ以降の案件につきましては、全て非公開であるため、ここで傍聴人の方は御退室を願います。

なお、お配りした資料につきましては、係員に御返却いただきますようお願い申し上げます。

〔傍聴人退室〕

それでは、これより、議事に入ります。

【議案第19号 水戸市教育支援委員会の委員の補充委嘱又は補充任命について：非公開】

【議案第20号 水戸市いじめ問題調査委員会の委員の委嘱について：非公開】

【議案第21号 水戸市いじめ問題調査委員会への諮問について：非公開】

○志田教育長 以上をもちまして、本日の案件につきましては全て終了いたしました。

その他、何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、それでは、以上をもちまして、本日の定例会を閉会といたします。

御苦勞様でした。

午後5時52分 閉会

## 9 議決事項

議案第19号について原案可決

議案第20号について原案可決

議案第21号について原案可決